

# 南丹市教育委員会会議録

平成 28 年第 6 回定例会

(平成 28 年 6 月 22 日)

## 平成28年南丹市教育委員会第6回定例会会議録

1. 日 時 平成28年6月22日(水)  
開会 午前8時45分 閉会 午前10時05分
2. 場 所 南丹市役所2号棟 教育委員会会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 委員長 武田 義史
5. 出席委員 委員長 武田 義史  
委員長職務代理 高屋 毅史  
委 員 吉田 尋子  
委 員 城戸 貴子  
教育長 森 榮一
6. 欠席委員 な し
7. 事 務 局 教育次長 岸本 薫  
教育参事 後藤 昌則  
教育総務課長 中川 勇夫  
学校教育課長 山内 紀子  
社会教育課課長補佐 浅田 妙子  
社会教育課課長補佐 辻 健二郎
8. 傍 聴 人 な し

午前8時45分開会

### 日程1 開会

委員長が平成28年南丹市教育委員会第6回定例会の開会を告げる。

### 日程2 会議録作成者の指名

委員長から会議録作成者に中川教育総務課長を指名する。

### 日程3 会議録の承認

## 日程4 報告事項

### (1) 主な行事報告等

(教育長)

- 5月19日に徳島市で全国都市教育長協議会が開催された。最新の情報を含めて学び多い会議になった。文部科学大臣の祝辞の中で、今年度末に改訂される学習指導要領について、「教育再生を目指す学習指導要領」として知識と思考力の両方を高めるため、教育内容の削減は行わない方針であるという考え方が示された。また、通級指導を含むインクルーシブ教育を推進するための特別支援教育は引き続き力を入れて取り組みたいとのことであった。教育の主体は教育委員会であり、住民の期待に応える教育行政の推進をお願いしたいという内容であった。続いて、大臣官房藤原審議官の講話「教育行政改革に係る今後の方向性について」の中で、現在、文部科学省が意識して取り組んでいることや、中央教育審議会等の提言についての紹介があった。
- 5月23日、本年度の南丹市体育協会総会が開催された。また同日、小学校外国語活動主任会、小学校教員の英語研修を実施し、小学校英語科導入に向けての取り組みをスタートさせた。
- 5月24日には南丹市PTA連絡協議会第1回理事会が開催され、府内一円で薬物乱用防止に係る取り組みを進めていることへの理解とご協力をお願いした。
- 5月25日、南丹市人権教育・啓発推進協議会総会が開催された。
- 5月27日、6月定例市議会の開会となった。同日午後からは、京都府市町村教育委員会連合会定期総会・研修会が開催され、3名の委員に出席願った。
- 5月28日には「LGBT」をテーマに南丹市人権教育講座(第1回)を開催し、新たな視点から『人権』について学びを深めてもらった。
- 5月30日、府立淇陽学校内に設置した桜が丘中学校で実施している学校教育の導入に伴う連絡会議を京都府・南丹市・府教委・市教委とで行った。主に14名の卒業生の進路状況についての意見交換を行い、原禰校長から、1名が就職、他13名は進学(全日制進学は6割強)することができたが、様々な家庭事情を抱えた生徒が最後まで高校生活を送りきるためには、全日制への進学意欲を高めていくことが学校としての課題であるとの報告を受けた。また、今後の各種の連携の重要性についての協議が行われた。
- 6月2日には中学校の英語科主任会、中学校英語教員の研修を実施し、中1生徒のスタートカリキュラム設定や目標設定作りを研究する方向で取り組みをスタートさせた。
- 6月14日には6月の定例校園長会議を開催した。教職員の人材育成という観点から人事評価を活用することや、暑くなるので熱中症や水の事故を未然に防ぐ取り組みの重要性について指導するとともに留意を求めた。
- 6月15日、保・幼・小・中ブロック連絡協議会一斉研究日ということで、小学校再編後の新たな体制での本格実施を行い、約230名の教職員が参加して取り組みが進められた。

[質 疑]

(高屋委員)

淇陽学校における学校教育について、6割の生徒が全日制に進学したとのことであるが、それ以外の4割の生徒の中で経済的な理由で全日制に進学できない生徒はいたのか。

(事務局)

経済的な理由で進学できなかった生徒はいない。定時制・通信制への進学である。

(2) 平成28年6月議会定例会における一般質問について

(事務局)

資料に基づき報告

[質 疑]

(吉田委員)

今までに損害賠償責任が発生するような事象はあったのか。

(事務局)

過去10年間、学校からこうしたケースの事故報告は行われてきていない状況である。

(3) 南丹市立小学校再編実施本部会議について

(事務局)

小学校再編の実施本部会議として協議を進めてきたが、再編事業が終了したことから、「南丹市立小学校跡施設利活用推進本部」に名称変更し、今後は跡施設の利活用について協議を進めていくこととなった。

(4) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき報告

#### 報告第4号 南丹市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について

(事務局)

南丹市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について、資料により説明。

[採決]

報告第4号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

#### 報告第5号 南丹市立中学生英語検定料補助金交付要綱の一部改正について

(事務局)

南丹市立中学生英語検定料補助金交付要綱の一部改正について、資料により説明。

[質疑]

(高屋委員)

利用者はどれくらいいるのか。

(事務局)

平成27年度で48%、平成26年度は29%であり、補助金の効果があったと考えている。

[採決]

報告第5号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

#### 議案第29号 かやぶきの里・南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区保存計画の一部変更について

(事務局)

かやぶきの里・南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区保存計画の一部変更について、資料により説明。

[質疑]

(高屋委員)

現在、保存計画の対象となっている建造物はどれくらいあるのか。

(事務局)

現在66棟である。

(高屋委員)

保存計画の対象建造物となると補助金等が受けられるのか。

(事務局)

国・府の補助金等が受けられる。かやぶき建物で約80%、外壁の修理であれば約50%の補助金対応となる。

[採決]

議案第29号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

その他 「南丹市教育委員会事務の点検・評価」の実施及び点検・評価アドバイザーの推薦・選任について

(事務局)

資料に基づき報告

[採決]

その他について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

## 日程6 その他

(事務局)

- 資料により、南丹市人権教育講座第1講の報告と第2講について依頼
- 資料により、「きらり・本のことば」コンクールについて依頼
- 資料により、子どもの主張大会について依頼
- 主な行事予定等

[次回定例会について]

(委員長)

次回の日程について、7月27日(水)午後3時30分開催としたいがどうか。

(委員)

\*委員長から各委員一人一人に諮り、全員一致で同意する。

(午前10時5分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

南丹市教育委員会委員長

---

南丹市教育委員会委員長職務代理者

---

南丹市教育委員会委員

---

南丹市教育委員会委員

---

南丹市教育委員会教育長

---

(会議録調製者)

南丹市教育委員会教育次長

---